

報告事項コ

平成24年度「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施
結果について

平成24年度「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施結果について、別紙のとおり報告します。

平成25年2月12日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施結果について

家庭・地域教育課

1 概要

高校生自身がケータイ・インターネットとの関わり方について考え、各学校で取り組んできた自発的なモラルづくりや啓発活動の実践を発表し議論することを通じて、県内の高校生が問題意識を広く共有し、その解決へ向けて、さらに取組を推進していく「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」を開催した。

2 主催 ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会

(青少年のケータイやパソコン等とのより良い関わり方について協議し、ケータイ・インターネット教育啓発の推進を図るために組織した団体で、マスコミ、携帯電話事業者、青少年健全育成団体、学識経験者、PTA、県関係課で組織)

3 日時 平成25年2月1日(金) 12:30～15:30

4 会場 倉吉未来中心 セミナールーム3

5 参加者 150名(高校生・教員:26校120名、PTA関係者、協議会関係者)

6 内容

(1)実践発表

<倉吉総合産業高等学校>「時間・友人・ケータイ～高校時間の質を上げるために～」

- 高校3年間という「時間」に着目
- 3年間の過ごし方と「ケータイ(スマホ)・インターネット」使用との関係を考える
 - ・全校生徒対象の「生活時間調査」「意識・実態調査」の実施
 - ・著名人へのインタビュー(高校時代の過ごし方や現在の自分にとっての高校時代の意義)
川中香緒里さん(五輪選手)、村上真奈美さん(「スーパーはくと」車掌 倉総産高卒業生)
 - ・全校発表、クラス目標の設定

<米子南高等学校>「携帯を味方にするために～あなたは正しく使えていますか?～」

- 全校生徒対象の「ケータイ(スマホ)アンケート」の実施
 - ケータイやスマホで最も利用が多いのが、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- クラスごとに「交換ノート」を実施
 - ・コミュニケーション能力を高め、より良いSNSとの付き合い方を学ぶ
- 米南みつばち発表会で取組を発表(米子市文化ホール)

<鳥取東高等学校>「あなたの気持ち、ちゃんと届いていますか?～つなげよう 心のネットワーク～」

- 「メール」に着目し、コミュニケーションや友達関係のあり方を考える。
 - ・先生へのアンケート(世代の違いによる意識の違い) ・先生からのメッセージ
- キャンペーンの実施
 - ・「友達とメールをする時間を決めよう」「メールに頼らず直接話そう」「手紙、はがき(年賀状)を書こう」
→電子機器に依存せず、うまく付き合い、うまく活用していく道を各自が考えることが大事

＜岩美高等学校＞「ケータイ・スマホ依存症がもたらすもの」

○生徒対象のアンケートの実施

- ・ケータイを常に肌身離さない(生徒だけでなく保護者も)、SNSの使用など
→かなり依存傾向がある

○ケータイ依存が、コミュニケーション能力を低下させ、家族関係さえも崩壊させる。

- 「岩美高宣言」(平成23年2月14日に生徒会が採択)に立ち返り、具体的に宣言を遵守していく

(2) 討論会

テーマ「ケータイ(スマホ)・インターネットと上手に付き合うには」

「ケータイ(スマホ)・インターネットについて、みんなで考え、取り組む意義」

コーディネータ 桑原 秀和さん(日本海テレビジョン放送アナウンサー)

○ケータイ(スマホ)に振り回されている実態

- ・メールが返ってこないと不安、逆にメールへの返信を宿題より優先している
- ・ケータイを優先して、やることをしてなくて怒られた
- ・夜遅くまでメールやSNSをしている

○ケータイ(スマホ)・インターネットと上手に付き合うには

- ・相手の状況等推し量る力が必要
- ・お互いに振り回されない人間関係づくりが必要
- ・声の調子や表情などを読み取りながらのコミュニケーションを大切にする
- ・同じ空間にいることを大切にする

○みんなで考え、取り組む意義

- ・自分だけでは気づかないことでも、気づくことができる



＜実践発表＞



＜討論会＞

7 成果

- ・実践発表や討論会により、ケータイ(スマホ)・インターネットについての課題意識を共有できた。ケータイ(スマホ)・インターネットをより安全・安心に、有効・効果的に活用していく力を一人ひとりが身につけていくことが大切であり、みんなで取り組むことで一人ひとりの意識もより高めることができることを確認できた。
- ・本事業の昨年度のモデル校である鳥取商業高等学校が、高校生が安心・安全・明るく前向きなケータイの活用法を発表する『ケータイ甲子園 2012』(平成 25 年 3 月 10 日(日)大分県で開催)の本戦に出場することが決定している。(全国で8校、中国・四国地方からは鳥取商業高等学校のみが本戦出場)